

和歌山 人・もの・地域

和

n a g o m i

Vol. 14
2011

わかやま癒しの ローカル線



知事対談
津本陽×仁坂吉伸

プレミア和歌山
紀州あせ葉寿司

パワースポットエッセイ
那智勝浦町[陰陽の滝]

田舎で見つけた(城下町の和菓子屋さん)

わかやま癒しの ローカル線

より速く、より遠くへ。

たくさんの人々と物資を運ぶ二筋の鉄のハイウェイ。

この目的を果たすため、

鉄道は都市から都市へと休む間もなくその根を広げ続けた。

鉄道本来の目的がそうしたものだすると、

和歌山には少々風情の異なるローカル線が、

人と人の心を繋ぐようにゆったりと根をおろしている。

人々の夢や思いを未来へと繋ぐために進化を続ける鉄道。

街中の小さな路地を枕木で巡る散歩道のように流れる鉄道。

癒しを求める人々を、心の聖地へといざなうために、

険しい断崖を巡礼者のように清らかに進む鉄道。

個性豊かなローカル線が自ら演じるべき役割を爽やかに、

時に頑固に演じ続けながら、

今日も人々とゆったりと会話を楽しんでいる。



たまカフェ episode



たまカフェオリジナルのドリンクとジェラート。地元フルーツをふんだんに使った優しい味で人気。イチゴアイスは手作りイチゴジャムとミルクのほんわか優しい甘さが大人気で、5月ぐらまで楽しめる。



たまカフェの自慢は 地元で丁寧に作られた 新鮮フルーツです。

紀の川市は、イチゴやキウイ、桃、柿やみかんなど多彩な果実が収穫されるフルーツ王国。「たまカフェ」ではこの地域の特徴を活かそうと、地元の新鮮なフルーツを使ったメニューにこだわっている。自然で優しい果実の味を損ねない様に、余計な添加物は一切使わない。そしてカットしたりピューレにしたり、スタッフ全員で毎朝毎夕作業を行う。季節によって収穫される果実が異なるため、次々と新しいメニューが開発されて、今では訪れる度に新しい味に出会える人気だ。

たま駅長の勤務時間は午前9時から午後5時で日曜日は休み。※日曜日は着ぐるみの駅長代理が出勤する日もあります。※ホームページにて要確認



和歌山電鐵 貴志川線
電話／073-478-0110
運行区間／和歌山駅～貴志駅
<http://www.wakayama-dentetsu.co.jp/>

カワイイだけでは
ないんだにゃ。

車窓から差し込む優しい陽光。楽しそうな表情の乗客たち。貴志川線は人々を笑顔にするローカル線だ。しかしこの路線が廃線の危機に瀕していたことなど、今となつては想像もつかない。再生の物語は、この鉄道を守るうとする住民とサポーターの思い、それに応えようとする企業の熱意にデザインーのアイデアが加わり始まった。

最初に導入されたのが貴志川の特産品である苺をモチーフにした「イチゴ電車」。その後三毛猫の「たま」を駅長に任命。続いて「おもちゃ電車」、「たま電車」と開発し、昨年貴志駅を建て替えた。こうして「新生」貴志川線は徐々に乗客数を増やしていく。その原動力のひとつが、住民を中心にしたサポーターたちの活動だ。列車のリニューアル費用を集め、駅舎の美化活動や利用促進のためのイベントを開催。なかには募集定員を超えるほど申込みが集まるようになったものもある。

「たま電車」に乗りこむと車内はまるで「走るテーマパーク」。テーブルや本棚、赤ちゃんのための木製ベビーサークルまである。観光客を楽しませるのはもちろん、地元住民の生活とも密接し、人に優しい未来へと続く電車。再生する貴志川線は、ローカル線が秘めた可能性をこれからも提案し続けていくだろう。



全ての車両のどこを撮っても絵になる。「カワイイ〜」と言う声が車内のあちこちから聞こえてくる。車内に掲示されているポスターも全てオリジナルデザイン。吊り輪にも天然の木が使用されている。



和歌山電鐵（貴志川線）

和歌山電鐵



水戸岡鋭治

みとおか えいじ

貴志川線は
ありえない事が連続した
奇跡の路線です。

ローカル・ワンダーランド

周辺には、観光客をたくさん集めることができる資源がほとんどなく普通の田舎。そこを走る総延長わずか14キロ程度のローカル線。ただ、沿線住民からは深く愛されている。それが私が出会った当時の貴志川線の姿でした。こういうローカル線の復興は、ゼロから作り上げるしかないと思いました。デイズニールンドのように何も無い場所に独創的な世界を作ってしまう手法です。沿線全体をワンダーランドにする。それしかない。

楽しい電車を走らせ、「こいつはすごい！」と話題になるほど魅力的な終着駅を備え、沿線で楽しいイベントが次々と起これば、必ず乗客は増えてくる。そう考え、まず電車のデザインを練りました。貴志川は、イチゴの特産地です。この路線を愛する地域住民にとつての誇りをモチーフにしようと思い、白地にくっきりと赤いイチゴが浮かんだ「いちご電車」をデザインしました。周辺住民もこの電車を歓迎し、大いに支援してくれました。次に子どもが楽しめる電車として、車内にカプセルトイなどを装備した「お

もちや電車」をデザイン。年間50回を越すイベントも開催され、次第に観光客も増えていきました。

奇跡の猫

2006年4月1日の営業開始時に、私たちは、一匹の猫と出会います。終着駅である貴志駅で飼われていたこの一匹の猫こそ、貴志川線に新たな奇跡を起こす三毛猫、「たま」だったのです。地域の住民と和歌山電鐵が協力し、猫の駅長として大いに盛り上げたことで、全国に「たま駅長」ファンが増え、新しい電車づくりのための多くの支援金が集まりました。こうした人々の熱い思いが結集して走り始めたのが、「たま電車」です。「たま電車」には、子どもたちが本物と触れ合う事ができるように、美しいフォルムの木製の長いすを設置するなど優れた技術を結集しました。

本物が熟成する文化

楽しい電車が揃ったところで、私は魅力的な終着駅の駅舎について構想を練りました。古民家のように、懐古主義的ではない。日本の

伝統的意匠と、西洋のデザインを融合をさせた駅舎。屋根は神社仏閣で使われる伝統的工法の松皮葺きとし、高野山で腕を揮う職人さんに協力をいただきました。ステンドグラスや有田焼きのタイルも一つずつ図面を描き、一流の職人に製作を依頼。暖簾や照明、時計、時刻表に至るまですべてがオリジナルで、時間と共に色あせる大量生産の既製品は一切使いませんでした。それはこの駅舎を人々とともに熟成していく、劣化しない本物の文化を生む拠点施設にしたかったからです。欧州では子どもの人間形成に大きな影響を与える大切な時間を「魔法の時間」と呼んでいます。私は「たま電車」や、貴志駅駅舎と子どもたちが本物と触れ合いながら「魔法の時間」を過ごせる空間になるように設計しました。本物には、大切にしなければならぬと思わせる緊張感があり、本物と触れ合った子どもは、自然と物を大切にするモラルを身につけます。「魔法の時間」を豊かに過ごした子どもたちが将来貴志川線をワンダーランドとして完成させるのではないのでしょうか。貴志川線は私に鉄道が街づくりの起爆剤になると確信させた、そんな奇跡の路線です。



和歌山電鐵の全てのモノが水戸岡氏によるもので、細部にまで完成されたデザインが独自の世界観を作る。1.有田焼のたま駅長タイル。窯元に依頼して焼かれたもの。2.お守りやキーホルダーも水戸岡氏のデザイン。3.駅舎を外から見ると猫の顔になっているが、このステンドグラスは目の部分にはめられている。4.和歌山電鐵職員の制服のワッペン。5.松皮葺きは、神社等の高貴な建造物の屋根に使われる。数少ない和歌山の職人が葺いた。世界唯一の松皮葺き屋根の猫顔駅舎。



6.たま電車開発途中の内装予想図。車内の床も木を用い、シートにもオリジナルのデザインを施している。7.関西と九州を直結する新幹線「つばめ」の車内予想図。肘掛などに木を用いている。

PROFILE

岡山県岡山市出身。高校卒業後大阪やヨーロッパのデザイン事務所にて修行。1972年にドーンデザイン研究所を設立し、建築や鉄道などの幅広いデザインを手がける。鉄道関連のブルネル賞やローレル賞、ブルーリボン賞をはじめ、平成22年には交通文化賞を受賞。九州新幹線800系やJR大阪駅広場空間のデザインも手がける。ドーンデザイン研究所の「ドーン」とは、水戸岡氏のニックネームから付けられた。



南海電鉄〈高野線〉



急カーブに急勾配の路線を上る 聖地への案内人、「天空」。

標高約900mに位置する弘法大師空海が開いた真言密教の聖地、高野山。清浄な空気で満たされている神聖な山上都市へと人々を導くのが、南海電鉄の展望列車「天空」である。

急勾配の斜面に張り付くように、蛇行しながら進んでいく線路。曲線半径100mの急カーブを曲がるために、一般的な車両より全長が3m短く、50%（パーミル）と言う急勾

配を上るために、各車両に駆動モーターを搭載している特別な車両だ。それでも急カーブにさしかかると、スピードを極端に落とす。レールと車輪の擦れ合う甲高い金属音が、静寂な山間に鳴り響く。高野山は今なお容易に辿り着けない聖地だ。

「こつや花鉄道」プロジェクトは、世界遺産・高野山への道中を魅力的にするための様々な取り組みの総称で、駅のバリアフ

リー化や美化活動など南海電鉄と地域の住民が協働で行い、そのシンボリック存在が「天空」である。

極楽橋駅まで導くと、「天空」はその役目をケーブルカーに引き継ぐ。俗界の喧噪から離れ、きらめく緑の中約30度の急勾配を一気に駆け上る。山上で迎え入れてくれるのは、優しい光に包まれた天空の聖地、高野山だ。

世界遺産の町石道



町石道の起点慈尊院と丹生官省符神社



慈尊院と高野山の中程にある丹生都比売神社

高野山町石道は 慈尊院から伸びる 信仰の道である。

高野山町石道は、慈尊院から高野山奥之院へと続く参道である。高野山開山時には物資を運ぶ道として、開山してからは信仰の道として1200年もの間、大切にされてきた。当初町石は木製の卒塔婆で、鎌倉時代に石造に立て替えられたと言われている。かつての巡礼者は町石のひとつひとつに手を合わせ、頭を下げて奥之院を目指した。町石とは1町(約109m)ごとに立てられている高野山への道標である。2004年、「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として世界遺産に登録された。



高野山真言宗総本山金剛峯寺
住所／高野町高野山132
電話番号／0736-56-2011



南海電鉄 高野線

電話／0120-151519(フリーダイヤル)

運行区間／橋本駅～極楽橋駅

(極楽橋駅～高野山駅＝ケーブルカー)

<http://www.nankaikoya.jp/>



屋根の頂上に擬宝珠がある高野山駅は平成17年に登録有形文化財に指定された。昭和ロマン溢れる2階の待合室は誰でも利用でき、ソファに腰掛けゆったりとした空気を味わいたい。



レトロ感たっぷりの駅長の表札。



車窓を思う存分楽しめるように天空の座席は窓側を向いている。明るく開放感溢れる車内ではお弁当を食べる人も。座席のシートには高野山に棲息するモリアオガエルのイラスト。車内が木目で穏やかな雰囲気。※天空の乗車には座席指定料金(500円)別途必要。



春になると沿線に植えられた桜が観光客の目を楽しませる。高野山の山間、橋梁を渡る急勾配を上る天空。最急勾配50%（パーミル）とは、1000m進む毎に50m上ることを指す。普通の鉄道で越えられる勾配は35%と言われ、これを上回ると特別な車両が必要となる。



極楽橋駅でケーブルカーに乗り換える。車両も駅のホームも傾斜に合わせて階段状になっている。井戸の釣瓶のように上り車両と下り車両が直径5センチのケーブルで繋がれている。



全長わずか2.7キロ。 枕木が綴る散歩道

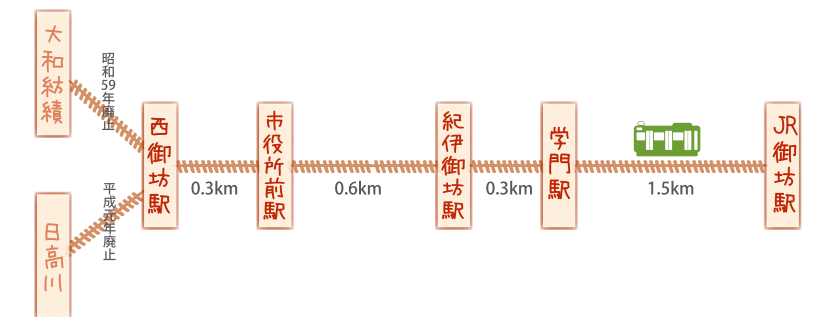
紀州鉄道

電話／0738-23-0001
運行区間／御坊駅～西御坊駅
http://www.kitetsu.co.jp/r_index/

地元では「りんこー」と親しみを込めて呼ばれる紀州鉄道。紀州鉄道の前身は御坊臨港鉄道といい、当時建設中だった国鉄紀勢西線が市街地を大きくはずれた場所になったため、町の中心までの交通機関として、昭和3年、町民有志が資本金を捻出し創立した。

御坊駅から西御坊駅までの営業距離はわずか2.7kmで、5つの駅がまるで飛び石のようにならぶ。1番短い駅間距離は300mで、手前の駅のホームから次の駅が見える。短い路線を平均時速30km

弱で走るのんびり列車は、片道8分間の距離を往復し続ける日本一短い私鉄。車両は「レールバス」と呼ばれる特殊なもので、国内で現役の車両はここできしかお目にかれない。ホームで乗車を待っている間に次の駅まで歩いていけそうだが、それでも待つ人が多い。乗ってみてはじめてその気持ちがなんとなくわかる気がした。社員は、車両の整備をしながら切符も売る。日本一短い鉄道は、地元の愛情に支えられ、今日もゆったりと時を刻み続けている。



紀州鉄道「りんこー」



地元で愛されるB級グルメ

昭和30年頃、初代店主がお好み焼き屋を開業。お客さんに「焼きそば、玉子でせちごうて」と注文され「せち焼き」が生まれた。焼きそばを、小麦粉を使わずに卵だけでお好み焼き状にまとめたもの。「せちがう」とは地元の方言で、無茶苦茶にするというような意味。

やました

住所／御坊市湯川町財部49-12
電話／0738-22-3227



重さ15キロもある巨大蒲鉾

巨大な蒲鉾、ジャンボは昭和53年に生まれた。イベントの重量当てクイズの問題として作られたが、思いのほかふっくらと焼き上がり、美味かったので商品化された。焼くのに8～10時間かかり2日かけてつくられる。

丸福

住所／御坊市湯川町財部706-12
電話／0738-24-0555



ほんのり優しい庶民の味

昭和28年創業で御坊駅前の「御坊あしべ」の看板商品「子安いなり」。寺内町にある湯川子安神社から名前を拝借した。パッケージには可愛い狐の絵が描かれていて、おもちゃのない時代はこれを切り抜きお面にしていたと言われている。

御坊あしべ

住所／御坊市湯川町財部581-2
電話／0738-22-0869



のどかな風景の中をゆっくりと走る紀州鉄道。下の写真は休車となったキハ603の車内。木の床に天井の電燈、対面式のシート。今も紀伊御坊駅の車庫に大切に保管されていて鉄道ファンが訪れる。キハも現在のレールバスと同じ2軸4輪である。



キハ603をかたどったサブシは、地元愛溢れる「紀州鉄道 臨港・サブレ」。西御坊駅近くの「ふく田」で購入。まるで道路の様に、家と家の間を通る線路。



紀州鉄道と住民の生活は密接だ。列車が通り過ぎた後、何事もなかったように人々が行き交う。



安珍と清姫の舞台である御坊駅近くの道成寺では、佳節による絵説き説法が人気。



受験生に人気の学門駅の切符と入場券。紀伊御坊駅で購入可能。学門駅のお地蔵様にはいつも綺麗な花が手向けられている。



紀州鉄道はJR御坊駅0番ホームから始まる。



津本 陽(つもと よう)

1929(昭和4)年、和歌山市生まれ。1978年、故郷和歌山を舞台にした「深重の海」で直木賞を受賞。「下天は夢か」など戦国を舞台にした長編歴史小説を意欲的に執筆し、1995年、「夢のまた夢」で吉川英治文学賞を受賞。徳川吉宗を描いた「大わらんじの男」など著者多数。1997年には、長年の文学業績を認められ紫綬褒章を受章、2005年には菊池寛賞を受賞した。

県として、様々な時代で海と深い関係を持っていますが、なかでも、熊野水軍の活躍は、日本の歴史に大きな役割を果たしてきました。
津本 ●熊野水軍は紀伊半島南部を拠点として活動し、瀬戸内海まで制していたと言われています。その水軍を統括していた熊野別当とは、熊野三山を統べる役職でもあったんですね。田辺生まれの武蔵坊弁慶の父である湛増も熊野別当でした。
仁坂 ●そうですね。湛増が現在の闘鶏神社の社殿前で紅白

の鶏を闘わせた話は、平家物語に出てくる鶏合壇ノ浦合戦として有名ですね。
津本 ●壇ノ浦の戦いは海上での戦争ですから、湛増率いる水軍の活躍により源氏を勝利に導いた訳です。そして戦国時代になると雑賀衆や根来衆が活躍します。彼らは数千丁の鉄砲を所有する恐るべき軍隊だったんですね。
仁坂 ●どうしてそれほどの鉄砲があったのでしょうか？
津本 ●その理由も実は黒潮なんです。黒潮には上り潮と下り潮があり、枯木灘から下り

大きく海に向かって開かれた県、和歌山。
豊かな自然と温暖な気候に抱かれて、太平洋を自由自在に移動する、
大らかで進取の気質に富んだ紀州人が生まれた。

黒潮が育んだ 紀州人氣質



仁坂吉伸(にさか よしのぶ)
和歌山県知事



2010年6月に発刊された「荒ぶる波濤(はとう)」PHP研究所

知事対談 津本 陽×仁坂吉伸

開国と明治維新は
紀州から始まった

仁坂知事(以下仁坂) ●津本先生は、和歌山出身の歴史上の巨人たちを数多く小説化し、紀州人の気質などには精通しておられます。和歌山県は古くから海と深く関係しながらさまざまなドラマを繰り返してきました。先生の新刊「荒ぶる波濤」で描かれている陸奥宗光も、「カミソリ大臣」と呼ばれるほどの外交手腕を発揮した和歌山が誇る偉人ですね。

津本陽氏(以下津本) ●その通りです。陸奥と坂本龍馬がいなければ明治維新はどうなっていたことか。「荒ぶる波濤」では、龍馬と共に過ごした時代を書いています。
仁坂 ●「独立して自ら其志を行うを得るものは只余と陸奥のみ」と龍馬に言わしめるほど、戦略を立てる才能に優れていたようです。

津本 ●亀山社中には計算に優れた者や腕っ節が強い者など多彩な人材が集まっています。龍馬は特に交渉力などに優れた陸奥の才気を愛し、

終始行動を共にします。その後龍馬が暗殺され、明治維新を迎え陸奥は政治の表舞台に出て行きます。
仁坂 ●そうですね。その後投獄されたりするんですが、盟友伊藤博文に請われて外務大臣に就任。幕末から続く欧米との不平等条約を撤廃させ、日清戦争を乗り切った功績は非常に大きいものでした。

津本 ●海外の列強に一步もひかない陸奥の交渉のおかげで外国と対等に話ができるようになり、日本は国際的な地位を確立していく訳です。日本の本当の意味での開国、明治維新は陸奥の手腕に大きく由来しているんですね。

海との深い繋がりが
紀州人を作る

仁坂 ●開国と言えばペリーの来航ですが、それより62年前にアメリカ商船が和歌山の串本に来航し、通商を申し込んでいます。黒潮が目の前を流れる和歌山県は、古くから海上交通の要衝であったんですね。海に向かって開かれた

潮に乗ると数日で種子島まで到着したようです。当時の種子島というのは中国との貿易の最大の窓口でした。

仁坂●種子島と言えば、日本にはじめて鉄砲が伝えられた所ですね。

津本●1543(天文12)年、鉄砲2丁が伝来した際、根来の津田監物^{つだけんもつ}は直ちに現地に赴き鉄砲を一丁購入し、根来の鍛冶職人、芝辻清右衛門^{しばつじせいゑもん}に模作させました。しかし当時の鉄砲というのは扱いにくく、弾が10メートルも飛ばないこともあったそうです。

仁坂●武田信玄が鉄砲を重要視しなかったのも、うなずけますね。

進取の気質と優れた技術力と応用力

津本●ところが芝辻をはじめとする紀州鍛冶が作る鉄砲は、100メートル先の野球のボールに命中する程、非常に精巧に作り上げたものだったといえます。それでも、硝薬を入れて弾を打つまでにおよそ24秒かかり、馬は100メー

し、2日たらずで着いたという記録も残っています。その船を造ったのも操ったのも紀州人でした。

仁坂●でも紀州人と言うのは本当に気前がいい。持ち前の軽いフットワークで全国の漁場に出かけます。その際にせっかく開発した新しい漁法や知識を現地の漁師に惜しげもなく教えるんですね。鯉節の製法も紀州で発明され四国、九州に伝わったものです。

面倒見がよく 大らかな海洋民族

津本●本当に大らかですよ。実は雑賀崎の漁師さんたちは1000年程前に沖縄から来たんじゃないかと思っているんです。と言うのも雑賀崎の言葉に沖縄の方言と思われるものが残っていたりするんですね。また、長崎県五島列島では、現地に伝わる鯨の漁法も、雑賀崎の漁師に教わったと言われています。

仁坂●なるほど。さすが海洋民族。行動範囲が広いですね。

トルを10秒程度で走ってくるから2発目を打つ前に飛び込まれるんですよ。だから根来衆や雑賀衆というのは2段打、3段打をやったんですね。織田信長が武田軍を撃破した長篠の合戦が1575(天正3)年のことですから、信長たちが鉄砲を使い始めるよりも、30年以上前から使い慣らしていたんです。そして1585(天正13)年に豊臣秀吉に滅ぼされるまで、根来は鍛冶と僧兵による鉄砲の一大生産地でした。

仁坂●それはすごいですね。もしその時、紀州に有力な武将がいたら、あつと言う間に日本を席卷できたかも知れませんか(笑)。このように、紀州人は進取の気質に富み、モノに工夫を凝らし進化させることが得意なんですね。さらに黒潮は海のハイウェイであり、和歌山は国土軸の真上にあったからフットワークも軽かった。

津本●そうですね。その上、造船技術や操船技術にも優れていました。菱垣廻船と樽廻船は江戸に新酒を運ぶ競争を

津本●そうですね。黒潮に乗って全国を巡っています。紀州人にとっては日本全部を自分の国みたいにいるっていたのかも知れませんがね。

仁坂●さらに紀州人はフロンティアスピリッツも旺盛です。江戸時代の栖原角兵衛は蝦夷地の開発に貢献した大海運業者で、彼らの一族はその後、樺太と北海道・宗谷間の定期航路を開きました。また、紀州から銚子に醤油造りを伝えた濱口家の七代目梧陵は、「稲むらの火」で有名です。安政の大地震により大津波が発生した時、村人を誘導するため自家の稲むらに火を放ち、多くの命を救い、私財を投じて今でいうと公共事業としか考えられない大堤防まで築造しているんです。

津本●すごい人物ですよ。小泉八雲は彼を「生ける神、Living God」と呼んでいます。

仁坂●明治政府で初代駅通頭(後の郵政大臣)に就任し、その後は和歌山県議会の初代議長になります。しかしそれも5年足らずで辞めて渡米しま



濱口梧陵の物語は、平成23年度の小学校の国語の教科書にも掲載されている(光村図書/5年)

した。政界を牛耳る訳でもなく、和歌山県における民主化の道を開いたらあつさり次は海外へ行くんですね。

辺市で奇行を繰り返すんですね。ところが住民はそんな彼を温かく見守ります。そういう気持ちに余裕のある町なんです。南方熊楠顕彰館では彼の偉大な足跡が資料として残されています。ただの展示施設でなく資料館を持っているというのが田辺市のすごさだと思います。

語り継ぐべき自信と これからの和歌山

津本●熊楠は大英博物館にも勤めたことのある粘菌学者でしたが同時に語学の天才でもあったんです。大英博物館に所蔵されている古代ギリシャ語やラテン語の源資料を読みこなせるのは熊楠だけだった。3日ほど辞書を読んだらその国の言葉を寝言で話したそうです(笑)。

仁坂●熊楠ならあり得そうな話ですね。田辺市の南方熊楠顕彰館で見たのですが、熊楠のヨーロッパ古代史の著作があります。何でもできてしまうのですね。しかし彼は少し個性的で、当時住んでいた田

津本●その通りです。頑張ってください。

仁坂●貴重なお話をありがとうございました。



はまぐち ごりょう
濱口 梧陵
(1820～1885年)

濱口家はヤマサ醤油の創業者一族。「稲むらの火の館」では梧陵の偉業と防災の知識を学べる。
所在地/有田郡広川町広671
電話/0737-64-1760



むつ むねみつ
陸奥 宗光
(1844～1897年)

紀州藩士の六男として生まれるが脱藩し坂本龍馬らと海援隊で活躍。伊藤博文内閣の時、外務大臣となり日清戦争の講和条約をまとめあげた。



みなかた くまぐす
南方 熊楠
(1867～1941年)

和歌山市生まれの博物学者。大学予備門(現在の東京大学)中退後、渡米。さらにイギリスに渡り大英博物館の嘱託となる。その才能は多岐にわたる。

紀州・木の国わかやま

第62回全国植樹祭が行われる和歌山から環境を考える

Basic Data

■森林面積／363,341ha (日本森林総面積＝2512万ha)
■企業の森／55企業・団体 56活動地 (平成23年2月現在)

01 南方熊楠が守った和歌山の自然

熊楠は、神社合祀令による鎮守の森伐採を自然破壊と危惧し、体を張って反対運動を行った。中辺路の「野中の一方杉」や「高原熊野神社」、田辺湾に浮かぶ「神島」などは熊楠が守った自然である。「エコロジー」という言葉を日本ではじめて使ったのも熊楠だと言われる。



野中の一方杉

熊楠が
守った熊野
の森(那智原始林)



神島



TOPICS

梅雨の季節。すさみ町から那智勝浦町などの林で幻想的な光を放つ、シイノモシビタケ。和歌山以外では八丈島や大分県などでしか発見されていない。

02 秋津野ガルテンから見えるグリーンツーリズム

小学校の旧木造2階建ての校舎を活用した農村交流施設。地元の食材を使った田舎料理が並ぶ農家レストラン・みかん畑が人気で宿泊施設もある。



農業法人株式会社秋津野
住所／田辺市上秋津4558-8 電話／0739-35-1199



03 古くてもいい物を利用する MOTTAINAIの精神

木造校舎としては日本最大級の現役小学校舎。98メートルの廊下や木の格子窓など、昭和12(1937)年の建築当時の面影がそのまま残っている。現在も学校として使われている。平成20年に建てられた屋内運動場は、紀州材を使った屋根組みが美しい。

橋本市立高野口小学校
住所／橋本市高野口町名倉226 電話／0736-42-2061

04 間伐材を利用したお札「木魂」

熊野は神々を崇め自然と共生してきた土地。熊野本宮大社では、地元森林組合と協力し、外材を使用せず地元の間伐材を使用した木札を作成する取り組みを進めている。

熊野本宮大社
住所／田辺市本宮町本宮1110 電話／0735-42-0009

05 ナショナルトラスト運動の草分け

「天神崎」は、田辺湾の突き出た岬で、20haの丘陵部と干潮時に顔を出す21haの平らな岩礁。昭和49(1974)年、開発計画を知った有志たちが、募金による買い取り運動を開始した。自然環境保全法人認定第1号。



天神崎

06 ブナの本州南限、わかやま

ブナ林と言えば北国をイメージするが、和歌山はブナが生育する本州の南限である。ブナの実は、山に住む動物たちにとって重要な餌であり、「山の生態系」を保つためには、ブナ林を保護する必要がある。

TOPICS

ふさふさした毛の小さくかわいい「やまね」は、ブナ林で見かけることが多い。木のうろなどで冬眠する。熊野地方では標高の低いシイ林やカン林にも棲んでいる。

第62回全国植樹祭を開催

●開催日／5月22日(日)
●開催場所／田辺市新庄総合公園
●問い合わせ／和歌山県全国植樹祭推進課
●電話／073(441)2985

シンボルキャラクター「キノビー」



あせの葉には優れた殺菌作用があり、寿司を好適な湿度に保つ調湿作用もある。

紀州あせ葉寿司

価格／「鯖・さんま」各1個170円、「鯛」1個210円
生産者／「(株) 笹一」和歌山市梶取20-2
電話／0120-043-401 <http://www.sasaichi.net/>
紹介した商品の購入は HP内のオンラインショップから。電話での注文も可能。



PREMIER WAKAYAMA

和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)推奨制度
安心・安全を基本に幅広い分野で優れた県産品を「和歌山らしさ」、
「和歌山ならではの」視点で推奨する。



あせの葉を粹にまとった
故郷の味

紀州では祭りや節句の時に、サバ、アジ、サンマなど近海で捕れた魚を、あせやバレンなど身近にある葉で包んだお寿司を作ってきた。中でもあせの葉で包んだお寿司は「あせ葉寿司」と呼ばれ、紀州沿岸部で伝えられて来た伝統の味である。あせの葉は暖竹(ダンチク)とも呼ばれ、竹のような清々しい香りやその殺菌作用、そして身近に自生しているという手軽さが寿司を包むのに最適な素材であった。

みなべ町生まれの堀口社長は、若くして故郷を離れ大阪や東京の一流店で腕を磨いた後、和歌山に戻り寿司店を開業し、事業を軌道に乗せた時、ふと思いついたのが、あせ葉寿司だった。「故郷の味を上品に、そして粋に食べる方法はないか」。それが、紀州あせ葉寿司が開

発の原点となった。和歌山の近海は潮の流れが速いため「魚の身が引き締まっている」と言われ、その旨さを損ねないようになたの新鮮さにこだわった。目の前で獲れた鯖や鯛サンマを厳選し調理をする。隠し味には故郷の南高梅を使用。「まろやかで深みのある酸味は南高梅でしか表現できなかった」と語る。

寿司を包むあせ葉も人工的なものでなく、本物の葉を使った。つかんでスルスルッとむけ、手を汚さず食べられるように包み方にも工夫を凝らした。「何気ないことですがこの包み方を開発するのに数年要しました(笑)。職人として意地と生来の凝り性から現在の包み方が出来たんです」とその笑顔は、寿司職人としての粋と遊び心にあふれていた。



和歌山県内に3店舗を構える(株) 笹一の堀口徹社長



選んだあせ葉寿司と鯖の棒寿司とのセットも人気



近海で捕れた肉厚の鯖と昆布のうまみが絶妙の鯖の棒寿司

陰陽の滝

[那智勝浦町]

那智大滝を一の滝とする「那智四十八滝」のひとつで、「奈珂悟の滝」とも呼ばれる。48の滝是那智山における修験道の重要な行場であり、その正確な位置は長い間、人々には知らされていなかった。日の光が差すと寄り添うように落ちる二条の滝が、神秘的で高貴な青磁のように艶やかな色に輝いた。



その巨大な姿自身がご神体である那智大滝

青磁色の 光と陰の



新宮市や田辺市は城下町として文化が栄え
高野山は寺内町として
独自に発展した和菓子屋が数多く残っている。

田辺藩

紀州徳川家の御附家老安藤直次が治めた藩で3万8千石。歴代紀州藩主を補佐した。辻の餅は天保年間創業。柔らかいお餅を上品な甘さのつぶあんで挟んだ名物のおけし餅は、武家の子供の髪型「おけし」に似ているから。甘党だった南方熊楠のお気に入り。



辻の餅

住所／田辺市北新町1
電話／0739-22-1665

新宮藩

安藤と共に将軍の命で御附家老水野重央が治めた藩で3万5千石。珍重庵は新宮の国道沿いに本店を構え、「あん」にこだわり「季節」にこだわる和菓子屋。熊野三山でしか買えない「もうで餅」は有名。



珍重庵

住所／新宮市大橋通り2丁目
電話／0735-22-3129

高野山

高野山は空海が1200年前に開いた山上の宗教都市。山内では殺生が禁じられていたため、精進料理が生み出された。麩善は文政年間に創業された高野山唯一の生麩屋。笹巻あんぷは上品な甘さのこしあんをよもぎの生麩でくるみ、熊笹で包んだ銘菓。



麩善

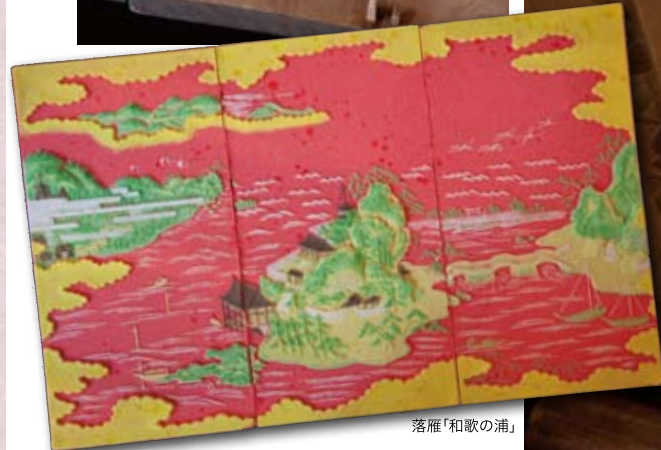
住所／伊都郡高野町高野山712
電話／0736-56-2537



干菓子である落雁は、茶の湯の点前に供される定番の菓子。江戸時代には武士のたしなみとして茶の湯がもてはやされ、大名は技巧を凝らした落雁の風雅さを楽しんだ。

紀州藩10代藩主徳川治宝(とくがわはるとみ)は、文化や芸術を好んだ風雅な殿様であった。また茶道の表千家を庇護し紀州藩の別邸西浜御殿に招いたと言われている。「西浜様御好 春の海桜形」と書かれているのは、治宝が好んだ落雁の木型である。

落雁「和歌の浦」の木型



落雁「和歌の浦」

天保7年に紀州徳川家10代藩主治宝が11代将軍家斉に献上した落雁「和歌の浦」。三枚の木型で作られ、その精密さはまるで絵画のようである。



総本家駿河屋

住所／和歌山市駿河町12番地
電話／073-431-3411

駿河屋は寛正2年(1461)に、初代岡本善右衛門が現在の京都府で「鶴屋」として開業し、今年で創業550周年を迎える老舗御菓子司。紀州藩初代藩主徳川頼宣に気に入られ、共に駿河に行き、御国替えで紀州に入り、現在の和歌山市駿河町で同店を開いた。5代将軍徳川綱吉の娘「鶴姫」が紀州家に興入れしたため、「鶴」と言う文字を使うのを逃慮し、駿河屋に屋号を変更した。



みにばりえは、伝統だけに固執しない総本家駿河屋の素材を活かした一口サイズの果実羊羹。

patisserie de Wakayama

田舎でみつけた

城下町の和菓子屋

和菓子には美味しさだけでなく、花鳥風月などの世界を表現する芸術性も求められる。その繊細な技巧の高さは文化度の高さでもある。

古来、甘味である砂糖は、非常に貴重なものであり、特別な身分の者だけが食することができたものだった。室町時代になると茶の湯が流行り、それに伴い都であった京都で和菓子文化も隆盛を迎えたが、それでも和菓子は中々庶民の口には届かない高価なものだった。

江戸時代、和歌山県には3つの城下町が存在した。紀州藩の居城があつた和歌山城下、将軍から直接命を受けた御附家老を城主とする田辺城下と新宮城下である。各々は紀州藩の重要な拠点であり、統治のため多くの武士が移り住み、文化や経済の中心地となっていく。当時の武士は茶の湯を嗜む文化人であり、和歌山の和菓子文化はこの3市を中心に発展してきた。



江戸時代の文献「紀伊名所図会」にも「本の字饅頭」の記載がある。日持ちするので参勤交代の時には、歴代の紀州藩主も食したと言う。また駿河屋の紅羊羹は、豊臣秀吉も絶賛した。





交通アクセス

- 羽田空港から南紀白浜空港まで約1時間10分
- 和歌山市まで
- 関西国際空港からバスで 約40分
- 大阪市内中心部から車で 約1時間

―― JR
―― 新幹線
―― 南海電鉄
―― 高速・自動車専用道路
―― 京奈和自動車道
―― 主要道路
● 今号の取材先

メディア関係の皆さまへ

和歌山県では、取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

お問い合わせ

- 和歌山県広報課
TEL. 073-441-2032 FAX. 073-423-9500
e-mail / nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp
- 和歌山県広報課東京branch(和歌山県東京事務所内)
千代田区平河町2-6-3都道府県会館12階(東京メトロ 永田駅直結)
TEL. 03-5212-9057 FAX. 03-5212-9059
広報専任スタッフがおりますので、お気軽にお問い合わせください。

観光物産

- 東京 ■わかやま喜集館
千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
TEL. 03-3216-8000 FAX. 03-3216-8002
e-mail / wtkankou@sepia.ocn.ne.jp
- 名古屋 ■和歌山県名古屋観光センター
名古屋市中区栄4丁目1-1 中ビル4階
TEL. 052-263-7273 FAX. 052-265-0327
e-mail / wakayama758@crocus.ocn.ne.jp

和歌山県フォトライブラリー(写真貸出)

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/photo/>

和-nagomi- バックナンバー

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/nagomi/>

和歌山応援団求む!

「ふるさと和歌山応援寄附」を通じてサポートしてください
和歌山県では、世界遺産や文化財の保全、2015国体開催、美しい海づくりなどに活用させていただきます。選択肢の中から活用方法の指定もできます。どうぞよろしくお願いします。

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

※クレジットカードもご利用可能です。

和歌山 人・もの・地域

和
nagomi

2011 vol.14

企画・発行／和歌山県
発行 日／平成23年3月1日
企画編集／サンケイ広告(株)
制作／(有)YSpros
印刷／中和印刷紙器(株)

「和-nagomi-」は古紙配合率70%以上の再生紙、大豆油インキを用いて制作しています。



Topics

05

「空海と密教美術展」 東京国立博物館で開催



国宝 帝釈天騎象像 平安時代・承和6年(839)
京都・教王護国寺(東寺)蔵

東京国立博物館では、7月20日(水)から9月25日(日)まで、「空海と密教美術展」が開催される。平安時代前期を中心に、金剛峯寺などに伝えられた宝物を通して、空海の思想世界を知ろうとする特別展示で、真言密教創世記が感じられる超一級の国宝・重要文化財が一堂に集められる。問い合わせ／東京国立博物館

電話／03-5777-8600(ハローダイヤル)
場所／東京都台東区上野公園13-9

Topics

06

ひと目10万本と言われる桃源郷は 桃の花が咲き乱れる別天地



3月末から4月上旬になると紀の川市桃山町全体は、うっすらと桃色の霞がかかり、ほんのり甘い香りに包まれる。紀の川沿いに広がるその夢のような景色は「桃源郷」と呼ばれ、知る人ぞ知る「あら川の桃」の産地だ。あら川の桃は白鳳や白桃が中心で、実は瑞々しくて柔らかく甘い。6月から8月にかけて

て全国に出荷されていく。

問い合わせ／「あら川の桃」振興協議会 電話／0736-66-1259

Column 02・この時期気になる~和歌山の食材~

和歌山オリジナルの苺「まりひめ」を使った 「プリンセスロール」が今年も発売!

高い糖度と適度な酸味が特徴の「まりひめ」は和歌山県オリジナル品種の苺。その豊かな香りと果肉まで鮮やかな紅色の「まりひめ」を使った「プリンセスロール」が、堂島ロールで有名な(株)モンシュシュから今年も販売される。3月と4月の2ヶ月間限定で、大阪はもとより東京、横浜、名古屋、広島などで販売。ふわふわの生地に巻かれた優しい甘さの生クリームとまりひめの甘酸っぱさがベストマッチ。



紀州手まりのように親まれるようにと名付けられた「まりひめ」。

Data▶
(株)モンシュシュオフィシャルサイト
<http://www.mon-chouchou.com/index2.html>

Topics

03

本物の味、空の上で提供中! 100%ピュアジュース“はっさくしぼり”



和歌山県は、はっさくの生産量日本一。果汁が豊富でみずみずしく、甘みと酸味のバランスが絶妙な和歌山産はっさく。その素材の良さをそのまま生かした伊藤農園100%ピュアジュース“はっさくしぼり”を3月31日までANAの機内ANA My Choiceで提供中。

搾ったままのストレートジュースなので、まるで果物そのものを食べているかのように大人気。

問い合わせ／伊藤農園 電話0737-88-7053

Topics

04

真田昌幸・幸村父子を偲ぶ 武者行列開催



問い合わせ／九度山町真田祭実行委員会
電話／0736-54-2019

戦国武将の中でも特に人気の高い真田幸村が幽閉された里、九度山町。毎年、季節の風物詩として5月5日には「真田まつり」が開催される。九度山の商店がそろそろ「真田市」も行われる。昨年真田庵の隣にオープンした信州真田仕込みのそば「そば処幸村庵」も人気。

Topics

01

双子のパンダ、モコモコ増量中! 生後6ヶ月でさらにキュートに!



8頭ものパンダファミリーが暮らしテレビでもおなじみのアドベンチャーワールド。昨年夏に誕生した双子のパンダ「海浜」と「陽浜」は元氣いっぱいにくすくす成長中!

2月11日に生後6ヶ月を迎え、体も大きくなりやんちゃ盛りだが、まだまだお母さんパンダに甘える可愛い姿や、のんびりとした愛くる

しい動きに心も癒される。

春には屋外でお母さんパンダとのスリーショットを見ることが出来る。モコモコな姿でコロロンと転がる子パンダの愛らしさは見逃

アドベンチャーワールド

住所／西牟婁郡白浜町堅田2399

電話／0570-064481

<http://aws-s.com/>

Topics

02

ナイト・キッチンスタジオ こだわり食材「和歌山」



パン パシフィック 横浜ベイホテル東急2階「オールデイダイニング カフェ トスカ」で行われる、各地からのこだわり食材を集めた「ナイト・キッチンスタジオ」。今回は平成23年4月18日(月)~5月21日(土)(予定)の日程で、和歌山の厳選食材を使ったレストランフェアが開催される。
シェフ自ら現地に足を運び、厳選した

食の楽園「和歌山」の味覚を、お好きな物をおきだけディナーbuffet形式で楽しめる。大人気のアトラクションコーナーでは、シェフが目の前で調理。洗練された料理人たちの手さばきと、できたての料理には満足間違い無し。

問い合わせ／カフェ トスカ

電話／045-682-2218

たま駅長のネコスピ

たま駅長大忙し。

たま駅長は映画やテレビCMの出演から、会社のイベントまでひっぱりだこ。公式行事では「たま卿」の正装でお出迎え。まさに猫の手も借りたいほど。

もう国際的アイドルだにや



大韓航空のCM撮影風景の



知事より「観光まねき大明神」の委嘱状をもらいました。

また肩書きが増えたにや



ちよつと休憩にや



喉を鳴らして駅長室でお昼寝タイム。



三毛猫「たまちゃん」駅長就任4周年。更に常務へ昇進!

1月5日、たま駅長就任4周年の記念式典が貴志駅で行われ、和歌山電鐵では、社長、専務に続くナンバー3の常務執行役員に昇格しました。記念して送られた疋田正章氏のスーパーリアル肖像画は必見です。(たまカフェ内で掲示しています)

問い合わせは、和歌山電鐵(TEL.073-478-0110)へ。
駅長たまのツイッターやっています
<http://twitter.com/ekichoTAMA>



本当にそっくりにや



フォローしてにやんご。



和歌山県ホームページ
(携帯サイト)

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/mobile/index.php>



「エコスピ」ーそれは、スピリチュアルな視点から考えるエコロジー。

「和-nagomi」は、和歌山県に息づくエコスピ・マインドにスポットをあてながら、旬の話題をお届けします。